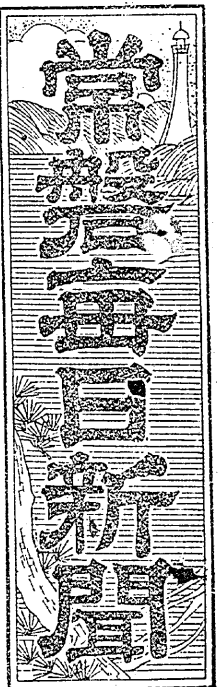


刊夕 日八月一



定額 一圓五角
 廣告料 五號 一頁 一圓五角
 印刷所 常新日新聞社
 發行所 常新日新聞社
 電話 六三〇
 印刷所 常新日新聞社

從如來生

眞繼 雲山

かつて或る地方に佛教講演に招かれたみぎり、その地の小學校長さんから揮毫を所望され、澁々ながら華嚴經中の一句「從如來生」と拙筆を揮ふた、校長先生見一了黙考して後「よくむ如來に從ふて生るか」と讀んで退けた、私は破顔一笑して知より來生すと訓み直した。

既にそれは生ける心臓ではなくして死せる心臓である見えざるが故に無といふを許さないが、而かも胸板一枚下の實在物をすらも吾人は永久に肉眼をもて對驗することは出来ぬ、眞如といふも亦た夫れ斯くの如きか、心眼を開かざる限り虚空に遍滿せりといへども、その眞如を體見するは容易でない。

眞如とは萬物の本體であり、萬物發生の根原である活潑々地として生けること猶し激測たる心臓が五體活躍の原動力たるに等しい、而かも心臓は五體の中央に位置するも眞如は宇宙の一角に坐せず森羅萬象、生死流轉のまゝが眞如の活現でありその當體である。

釋迦如來、阿彌陀如來、藥師如來など、如來様にも數々あるが、その如來様は何處から御座つたかといへば「矢はり眞如そのものより來現し給ふたのである」とは眞の如きを意味し、眞より異りたる別の物ではない。

眞の如くにして眞を異らざるものゝ來現である故に「如來」である、華嚴經に「從如來生」とあるは如より來生し給へるが如來であり、同時に一切萬物も亦た如より來生したるものなる

ことを示す、既に來生の本源が眞如である以上、その眞如とは死物でなく躍々として生けること論を待たない。

私たちが凡人も眞如から生れて來た、たゞ迷へる故に如來様といふことは出来ぬも、凡夫が悟れば矢はり如來様である。



偶感

藤本詩津夫遺稿

三村 哲 朗

つゝがなく笑ひに過ぐすと文みくれし
 我がなきあとの故郷の友
 わすれ得ぬ始めて知りし戀心
 さびしかりし冬の夜の月
 死にたしと言へば馬鹿よと言ひたりし
 友は今にも死にたしと言ふ

仕事なき厄介者のさびしさは
 ひねもす思ふ故郷の人々
 死なないでお呉れと涙でさゝやいた
 あの看護婦の瞳忘れず

良き土地と故郷あとに
 死にたしと言へば馬鹿よと言ひたりし
 友は今にも死にたしと言ふ

あつたなれど
 われにつれなき宵の人風
 死に度しとさびしく言ひし
 乙女あり
 われ居ぬ故郷にまだ生き居る
 さびしさよわれは連なき
 あの女よ
 嫁をめると便りくれにさ
 懐かしく手紙を呉れし
 ふるさとに
 瞳の可愛い乙女もありさ

立派な寫眞が誰にも撮れる!!!

カメラが第一

お正月の楽しみは何と云つても

安くて簡単によく寫るので大評判!

- いづみやの小型カメラ
- 小型判 一組五十錢より
 - ベスト判 同 一圓五十錢より
 - 名刺判 同 四圓より
- 回只今最新型カメラ澤山入荷!

函型カメラの大特賣

- 一圓五十錢のカメラが 一圓五十錢
 - 二圓のカメラが 一圓五十錢
 - 二圓五十錢のカメラが 二圓
 - 三圓五十錢のカメラが 二圓八十錢
- ジャバラ式カメラの大流行の爲函型カメラを在庫品全部大特賣致します、買れ切れぬ中御早く函型カメラの（ジャバラ式より耐久力三倍以上）（ピンントは合せる世話がなく誰にも完全に撮れる事修繕も簡単に出来る事）
- 第四回懸賞寫眞募集
 題「お正月」
 〆切一月二十日
 模型飛行機材料はいづみや玩具店

度量衡、計量器、吸入用酸素、酸素吸入器

關内藥局

電話四〇番

金輸出再禁止と

三井の大奉仕

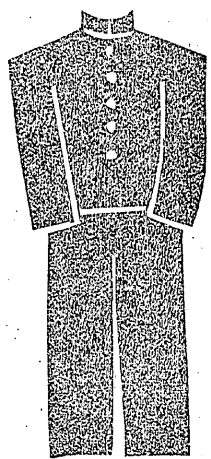
金輸出再禁止に伴へ商品物價は大暴騰を來す事と存じます。弊店にては幸ひに安値品豊富に仕入置きましたから平素の御愛顧に報ゆる爲此際値上げ致さざるは勿論在庫品は一層お勉め致す覺悟に御座へますから年末年始の御用は何卒三井へ御用命の程偏にお願申上げます。

三井吳服店

冬の通學服

當店特製の黒小倉通學服を豊富に取揃へて御座います。

- 長ツボン付 小學生用……・85錢
- 同(特製品)……1・90錢
- 中學生用……2・80錢



なかや洋服店 電話203

外科

X光線科
 性病科
 外科科

平町田町

安齊外科醫院

電話四七五番

意隨院入

怪 荷車の下から 大爆音を發す

戸障子を鳴動して大騒ぎ レビュ團の物騒な落とし物

販賣利用組合

役員會開く

昨七日午後三時頃平町一丁目聚樂館前の道路を石城郡飲野村佐藤吉次(四)が空車を曳いて通行の際車の下で突然大爆音を發して爆發したものがあり附近の戸障子を鳴動せしめたので大騒ぎとなり直に平署員が駆け付けて取調ると六日迄聚樂館で興業して居た東京レビュ團で使用してゐた短銃用の雷管を一行が引擧る際落して行つたのを荷車が轢いた為め突然爆發したものと判明したが一時は大騒であつたと

石城販賣利用組合では十二日午前十時から團体事務所樓上に役員會を開き七年度の事業報告其他に就いて協議すると

磐崎藁工總會

石城郡磐崎村馬玉藁工組合では本日午後一時より同村役場に於いて總會を行ひ本年度事業の計畫並に六年度の決算報告等に就いて協議すると

陸軍が 買上げるので 養兔家急に活氣付く

優秀品は一圓以上の相場

石城郡下農家の副業として一時非常に旺盛を極めた養兔事業も其後

財界不況 等に祟られて收支のバランスがとれず最近幾分下火になつた觀があつた處陸軍省から滿洲派遣軍に兎皮を送る爲めに四萬枚の買上げを發表するや本縣農會では一萬枚上納の申込を爲し石城郡下の

養兔組合 にも剝製を

勸誘し來つたので再び養兔業に一脈の息を吹き込んだが如く頗る飼養の熱度を高めて居るが目下の値段は二十インチ以上のもの七十錢から八十錢一等品十八インチ以上五十錢から七十錢二等品十六インチ以下二十錢から三十錢で一般の生産品は 二等品が多いので一羽三四十錢にしかならないが金輸出再禁止の當時は帝國農會では仲買人

平稅務署の 幹部級一新

平稅務署では署長以下直税間稅兩課長の異動により署内の空氣一新されたかたちであるが新任の直稅課長佐藤平七氏は三日前任地山形縣福岡より着任し間稅課長寺山盛一氏は相馬郡中村より五日着任され、事務引繼ぎを了し七日諸官廳に新任挨拶をなした尙唯野新署長は九日着任の豫定である

薄氣味悪い赤切符 滯納整理に最後の督促

警親會が弔意 石城

平町では六年度前期戸數割及び家屋稅附加稅隨時雜種稅の滯納九千七百餘圓の整理につき屢々吏員が督促を試みてゐたが抄どらないので七日附で來る二十日まで納めない時は差押へ處分の競賣を斷行するとの最後の赤切符を發した

不漁續きで 欠損に終始

石城沿岸漁業家 資金難に追はる

石城沿岸に於ける漁業界の昨今を見ると打瀬アグリ、沖洩等の冬職がいよゝ一月限りを以て終了し二月より春職に替はらんとしてゐるが秋以來漁獲思はしからぬ上に相場安のため漁業家は全く缺損に終始し差當り春職に移る資金難に追はれてゐる有様で各地漁業組合では低利資金の借入れにつき協議中である

木炭同業顔合

郡木炭同業組合では十日午前十時から平町事務所職員初顔合を行ふ

藤原堤防改修 石城

郡泉村瀧尻地先藤原川堤防は河床淺く降雨毎に出水を見るので上遠野助役外敷名が六日平土木監督所に改修方を陳情

平町人事

回出生

△二丁目八 當時東京府下荏原郡世田谷町大子堂酒井繁重氏二男 茂男
△四町二〇 當時東京府下豊多摩郡戸塚町字下戸塚 高場次郎氏 長男 邦治

回死

△五丁目五瀧口好久(二七)
△南町二七 當時大坂市住吉區田邊本町六丁目 村上五郎(五二)
△十五丁目十二 佐々木庸之(四六)

往來

△安齊辯護士 七日夜八時上野より歸平
△千葉辯護士 同日午後二時仙臺より歸平
△縣議野崎滿藏氏町議青沼峰太郎氏酒井町役場助役の三氏 今朝準急にて上京
△阿部夏井村長青木村議 午前八時平發列車にて福島へ

一冊の代金で 御希望通りな

五冊の雑誌が 自由に讀める

川崎巡文庫

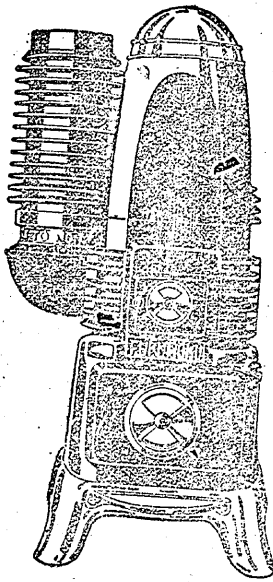
電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

石炭經濟の理想的ストロブ

それは石炭商の立場より多年研究試験の結果

フクロクストロブ

に優るものなし



ストロブ 御買上の際是非御相談下さい
カタログ持參御説明申し上げます
電話二三三七番

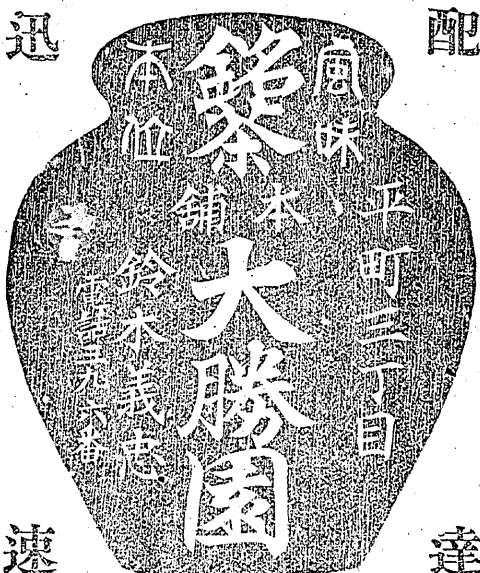
阿部石炭商店

お茶の値下斷行

本場銘茶の優良品を一段と品質を向上致しまして英斷的値下致しました、何卒御試飲下さいませ

煎茶四十目袋入 十錢より五十錢まで

ほうじ茶四十目袋入 十五錢 第二號十錢



迅

速

暗夜の燈臺下で

漁船水主丸難破

豊間消防組が出勤救助

損害三千圓

今朝午前二時頃石城郡豊間村鹽屋崎燈臺沖合石城郡小名濱町宇米野中野鐵之助

所有の 沖浪船水主丸

二十三噸に船長佐藤八郎以下十三名が乗組んで歸航中前記燈臺沖一漕の地点で暗礁に乗り上げ船體は大破し航海不能の儘風浪に揉まれ同四時頃同村薄磯海岸十町餘の沖に流されたので乗組員が救助を求め

大聲で 叫んで居るの

を部落民が発見警鐘を打つて消防組員出勤乗組員全部を救助したが幸ひ負傷者はなく損害三千圓位であると

傷害犯が 罰金に不服

石城郡平窪村大字中平窪字古館廿八番地新妻道雄(三)及同村字富貴内五十九番地福田高譽(三)が去る六年九月十八日石城郡上小川村縣道に於て大平明光外一名と口論の末高譽は自轉車の古鎖、道雄は金槌を以て之を毆打し全治療七日間を要する傷害を加へ更に高譽は九月二十日同郡下小川村二矢神社に於て小川要と口論の末手を以て同人の左耳部を

毆打し全治一ヶ月を要する裂傷を加へたる傷害事件は市川検事竹内検事掛りのもとに取調中の處此の程高譽は罰金百圓、道雄は五十圓の略式命令を發せられたが道雄は大嶺辯護士に依頼し不服を申立てたるに依り近く公判に附される筈

理髮總會 花時迄延期

平理髮組合は来る十日總會を開催すべく豫定の處表彰其他の都合によつて博覽會開催期を卜して開催すべく延期したと

景氣好轉の反影

平町の貨物激增

驛員が轉手古舞ひ

歳末から新年にかけて平驛の貨物は非常なる激增を來し驛員は之れが爲めに日夜轉手古舞を演じ景氣も餘程好轉して來た現象の反影だと觀測して居る

赤井の四氏が 次盗賊逮捕

赤井の四氏が

石城郡赤井村松本明(三)松若勝雄(三)草野喜代司(三)鈴木文吾(三)の四氏は昨年八月廿七日午後九時頃同村木村寅吉方を襲つた空巢視犯人逮捕の爲め駐在所員と協力檢舉した爲七日付を以つて村井知事より金一封を

日には全國的な米價の騰貴につれて二十錢高の十四圓二十錢となり尙高値を示す模様である

政友派の協議

組閣祝賀と縣議懇勞

石城政友部會にては本八日午後一時から幹部會を開き組閣祝賀會を兼ね縣會議員の慰勞會を開催すべき件に關し協議を遂げた

石城民政から 依然比佐氏か

石城郡民政部會では議會解散を豫期しこれが對策を講ずべく臨時總會開催の期日につき來郡中の比佐代議士と協議の結果十五日頃開く事になつたが解散後は更に比佐氏が出馬する筈である

有力者を招き 磐城が新年懇親會

石城郡内郷村磐城炭礦では七日同村有力者を招き礦業所幹部の新年懇親會を開催した

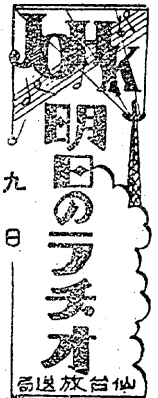
茨城縣人總會 在平

茨城縣人會は十五日午後五時から谷口樓で春季總會を開催すると

昨年度は幾分 就職率が低い

最近は雪國からの 出稼が數を増した

平職業紹介所で取扱つた昨年中の紹介成績によると求人數は男九百七十一名、女百五十五名、計千三百三十六



明日の天気

今夜は北西の風 小雪模様明日は 北西の風晴れた り曇つたり

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- お話「滿洲とは金子義男
- 後六、三〇 運動講座「ラ
- クビー早わかり」河西三
- 省
- 後七、三〇 講演「滿洲駐
- 劄師團を巡して」第二師
- 直次郎
- 後八、〇〇 ラヂヲ「三人」
- 大東鬼城外
- 後八、〇〇 歌澤「曉の鷄
- 聲」松竹梅歌澤太夫芝金
- 外
- 後九、一〇 講演「清水一
- 角」一龍齊貞山

明日の部

- 後九、四〇 時報 氣象通
- 報 番組豫告
- 後〇、〇〇 吹奏樂 B K
- 後六、〇〇 子供の時間
- をどりのおけいこ「子供
- のアーティスト特選童謡舞
- 踊」ラヂヲはどこでも
- 子供の時間歩いている
- 「振付とお話」花柳珠實
- 後八、〇〇 浪花節「牧野
- 彌右衛門」木村重友
- 後八、五〇 管絃樂日本放
- 送交響樂團

ラヂヲの 無料診査

仙臺放送局にては左記の如く巡回ラヂヲ診査相談所を設け故障機を無料修理する

トラックが 通行人を跳飛ばす

運轉を誤つて

石城郡湯本町片岡自動車店運轉手羽賀次郎(三)は七日午前八時半頃トラックを運轉して泉方面へ進行中磐崎村藤原地内で運轉を誤り前方を通行中の上遠野村宇深山田吉田長藏(三)に衝突同人を附近の田圃に跳飛ばし顔面右腕等に全治三週間の重傷を負したので目下平署で取調中

現内閣總辭職

(東京電話)某重大事件突發の爲現内閣は總辭職決行の爲辭表を取纏め申す

仲町新年宴會

仲町區民の新年宴會は本日午後三時より扇屋旅館にて七十餘名出席催さる

平職業紹介所報告

- 求人部
- △商店雜役 卅才以下 高
- 卒 給料面談(紺屋町某)
- △外交員 五十才以下 高
- 卒以上 歩合給(應匠町某)

小説 七五郎

(百廿三)

【載轉禁】

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

怪しの手紙 (9)
高野が熱のない軽口で喋りつづけるのを黙つて聞いてゐた郁子が

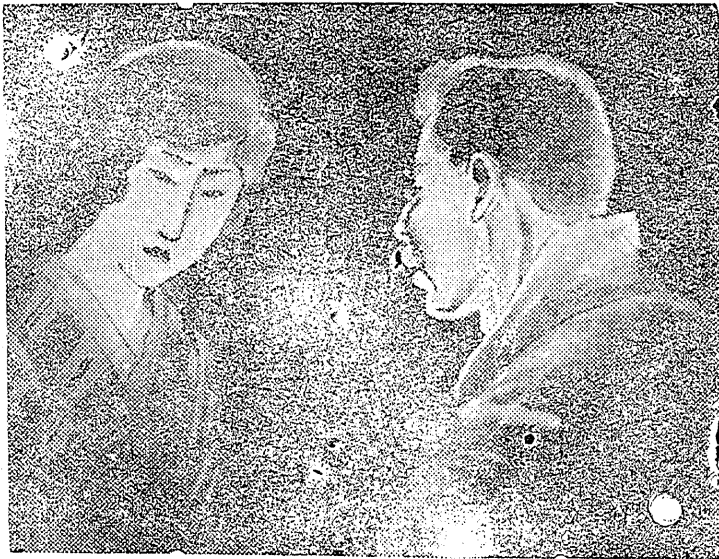
『ちよつとお待ち』
と制して連れの女に目配せしたと彼は以心傳心にうなづいて

『あの奥さま、それでは私此處で失禮いたしますが、ほんとは有益な面白い話を伺ひまして大層研究になりました、こつちふ静かな寂しい山の中であつた、いふ宗教上のお話を承りますと身に沁みてつくづく考へさせられますわ、有難うございました』

と懇懃にお辭儀をした
『いえ、まだね、お話が残つていますのよ、貴女最う少し研究なさいませんと徹底した人生觀を得られませんわ、せつかく御勉強あそばせ、ぢやあ、お母さまへ宜しくね』

『申聞かせます、左様ならお先へ』
その女は町噺に會釋してすた／＼と山を下つて去つた、高野は其後姿を見送つて

『あれかい』
莞爾として
『若尾さんの姪御なんだとさ、やつぱり別荘に來ておらつしやる方なの』
『へエ、若尾さんの……』
高野は疑い深い目を光らした



『いろ／＼家庭のいささつがあつてね、ひでく煩悶してゐらつしやる様なのよ、それで私ね、宗教の哲理を説いて聞かせて慰めて上げてやら落涙して、悦んでゐらつしやつたわ、お氣の毒ねえ』
高野は始終を聞き了つて

『やはり月並の思ふ殿御と添ひ遂げられないとか何とかいふ筋ですわね、煩悶と女も最うカビが生えが／＼しましたね、奥さまアハハ、』
高野は嘲るやうに言つてから／＼と笑つた
此の婦人に何の宗教があるらう、哲理があらう、嘘にも程が……とお可しく思つたのである、が、あの手紙から推測すれば必然男であらねばならぬ筈の夫人の相手が、やはり女であつたことが如何考へても腑に落ちなかつた

『うにすゝめたといふことを川島は知つてゐて?』
『いやまだ知りませぬ』
『それから清作と千代子の手引でもつてノロさんが家に入りかけてゐるといふ事は?』
『それも恐らく承知してゐますまいよ、實はどつちにも我々にとつて警戒すべき問題ですから内々知らせようと思つて方々居所を探したんですけれども、何處へどんな形状で飲みつぶれてゐるのか全然消息不明なのです』
高野は事實におひれをつけてひたすら郁子の信用を失はしめんと魂膽せり
『仕様がないのね、最も責任の重い元師がそんな住末ぢや、戦争が出来ないぢやありませんか』
郁子の眉は深く懸んだ
『さ、それだから心配して御相談に上つたのです』

大塚の 學生靴!!!

耐久新製品

編上靴 六〇〇

半靴 五〇〇

不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……

大塚支店製靴部
電話七七番

御用命印刷物の總て

常警日印刷株式會社

電話六三〇番

磐城セメント會社特約店

久益屋商店

磐城平町五丁目 電話九番九九番

□良品廉賣に勝る商略なし

□確實敏捷はの生命なり

正確な時計

お客様本位の……

平一常盤屋時計店

好適の眼鏡

貸切の御用命は?

獅子吼(四四九)ノ勢デ

眞先ニ……(マツサキ)

三九ニタクシーへ!!!

看護婦急派の求めに應じます

平町南町

平看護婦會

電話三〇七番

内小兒科・花柳病科

藤沼醫院

入院應需

平町南町 電話七〇五番